

## 女子第2部

女子第2部は、一昨年の初出場以来エース立山の活躍で連覇中のフォーリーフジャパンが、立山に加えパリ世界選手権大会57kg級代表の松本をも擁して三連覇を目指す。これに昨年からエントリーのJR東日本グループが挑む展開となった。

### 準決勝戦第1試合

初戦を圧倒的な力の差を見せ付け、楽々と準決勝戦に駒を進めた大会三連覇を狙うフォーリーフジャパンは、緒戦を関西の強豪日本エースサポート欠場による不戦勝でラッキーな勝利を得、第2回戦をオール一本勝で制して勝ち上がった日光警備柔道部と対戦。両者の熱戦が期待されたが、ここでもまたフォーリーフジャパンが圧倒し、V3目指して決勝戦へ進出。

フォーリーフジャパン 3 - 0 日光警備柔道部

(先鋒) 松本 薫 2段	袖釣込腰	石井 明菜 初段
(中堅) 川上 由貴 3段	腕緘	國本 美津子 2段
(大将) 立山 真衣 3段	上四方固	遠藤 あかね 2段

先鋒戦。パリ世界選手権代表の松本は、開始10秒、右組みから左袖釣込腰で石井を頭越しに投げ捨て、秒殺の一本勝。

中堅戦。川上は、2階級下の國本が開始45秒に右組みから左一本背負投に来たところを潰して、寝技で攻め1分8秒に縦四方固で押さえ込む。國本は19秒で逃れるも、川上は再び縦四方固に押さえ込みながら國本の左腕を腕緘で極める。1分36秒、押さえ込み宣告後直ちに参ったとなり、早々とフォーリーフジャパンの三連覇成る。

大将戦。立山は46kg軽い遠藤を、開始12秒、右組みから支釣込足で転がし、造作なく上四方固に押さえ込み、開始36秒一本。

### 準決勝戦第2試合

共に寝技による勝利を積み重ねて準決勝戦に進出したヤックスケアサービスと J R 東日本グループの戦いは、手に汗握る好勝負が続いたが、大将小島の奮闘により、J R 東日本グループが出場 2 年目で決勝戦進出を決めた。

ヤックスケアサービス 1 - 2 J R 東日本グループ A

(先鋒) 東川 真梨 3 段	⊖	(小内刈)	上原 円 3 段
(中堅) 塩山 郁恵 2 段		横四方固	杉本 明日翔 3 段
(大将) 島本 裕子 2 段		(内股)	⊖ 小島 佑香 3 段

先鋒戦。年齢、体重、身長もほぼ等しい両者、東川は右組み、上原は左手で相手右袖を取って、左に攻める変則柔道。東川は右背負投、上原は左体落で互角に攻め合う。終盤の 3 分 2 1 秒に上原に指導 1 が与えられると、上原は俄然攻撃の度を増し、防戦一方となった東川に残り 9 秒に指導 1。その宣告の後、東川は組むや否や、残り 3 秒、左一本背負投と見せての小内刈で有効を奪い、時間。ヤックスケアサービスが先取。

中堅戦。体格で劣る塩山が開始早々右組みから左袖釣込足に行くところを、杉本が支釣込足で転がして開始 1 1 秒に有効を奪い、そのまま寝技で攻めて 1 7 秒に横四方固に入る。そのまま押さ込み一本。J R 東日本グループが内容差の逆転。

大将戦。上背で勝る小島は、右組みから島本を堂々と組み止め、攻撃の機会を窺う。1 分 2 1 秒に小島の払腰崩れの低い右内股が島本を横転させ技あり。ポイントを奪われた島本が挽回を期すところ、続く 2 分 1 秒に小島が場外際から払腰で有効を奪いポイントを重ねる。その後、反撃で前に出る島本を、小島は内股で合せてぐらつかせ攻撃を封じて時間。

J R 東日本グループが創部 2 年で決勝戦進出を決める。

## 決勝戦

準決勝戦まで全勝、無敗、三連覇を目指すフォーリーフジャパンに、接戦を制して勝ち進んだ J R 東日本グループが挑む注目の決勝戦は、中堅まで互角の戦いを展開したが、フォーリーフジャパンのエース立山が無類の強さを発揮し、開始早々、電光石火の足技が冴え、見事三連覇を達成。

フォーリーフジャパン 1 - 0 JR東日本グループA

(先鋒) 松本 薫	2段	引分	上原 円	3段
(中堅) 川上 由貴	3段	引分	杉本 明日翔	3段
(大将) 立山 真衣	3段	膝車	小島 佑香	3段

先鋒戦。共に57kg級、左右のケンカ組手。互いにつつりと組み、松本は内股、小外掛で、上原は体落、背負投で攻めるが決まらず。上原の出足払に松本は2度よろめく。上原に3分12秒、指導1が与えられるのみで、ポイント無く時間となり引分。

中堅戦。この両者も70kg、同じ階級の戦い。川上左組み、杉本右組み、両者の組手争いが続き、川上が体落で崩して寝技で攻めるが、決まらず引分ける。

大将戦。開始早々の6秒、組むや否や、立山の右膝車が見事に決まって一本。フォーリーフジャパンが輝く三連覇を達成。